

クラス番号	914	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	火口 弥生
テーマ	認知症ケア実践。「まだまだできる！」を支援する。		

ゼミナール概要

【目的・学習内容】

世界をあげて取り組まなければならない認知症の問題。疾患の理解にとどまらず、一人一人の生活のしづらさを理解し、その中からソーシャルワーカーとして何ができるのかを一緒に考えたいと思います。

認知症の方は、出来ないことが増えますが、出来ることもたくさんあります。代替療法の一つに「気晴らし療法」と訳されるオーストラリア発祥の『ダイバージョナルセラピー』というものがあります。

ダイバージョナルセラピーを一言でいうと「あすの朝 目が覚めた時 ベッドから起き上がる理由を持てるように支援すること」と表現されています。起き上がるのは“こころ”です。身体を起こしてもらっても、目的がなければ、また、寝てしまうかもしれません。支援者が起き上がる理由を作るのではなく、自分で理由を見つけられるような支援が求められています。ダイバージョナルセラピーの理論や実践を通して、「まだまだできる！」を実感し、認知症ケアのあり方について考えていきましょう。

学びの実践として、認知症の方が働く「注文をまちがえる料理店」のプロジェクトに賛同し、若年性認知症の方の「まだまだできる！」を支援するため、地域の方と一緒にカフェを企画・運営していく予定です。

【授業計画】

(前期)

- ・認知症の特性と治療法について調べる
- ・デイサービスにおけるダイバージョナルセラピーの体験
- ・その他の代替療法について調べる

(後期)

- ・若年性認知症の方が働くカフェの企画
- ・当事者、家族、地域の方やボランティアとの打ち合わせ
- ・カフェの開催
- ・開催後の振り返り

※実践の報告書作成とゼミ内プレゼンテーションの実施

※学外に出る場合の交通費など、自己負担が出る可能性があります。

担当教員からのメッセージ



私は、大学卒業後、MSW、障害者施設や特養の生活相談員、介護支援専門員などを経て、現在は、名古屋市内で高齢者・障がい者の事業所を営んでいます。日々、一人一人の居場所と出番づくりに取り組み、「まだまだできる！」を支援しています。

ゼミ活動に主体的にかかわり、ソーシャルワーカーとしての自分の立ち位置を考えるきっかけにして下さい。